

(東京都グリーン水素ラウンドテーブルご説明資料)

三井物産 水素取組みのご紹介



MITSUI & CO.

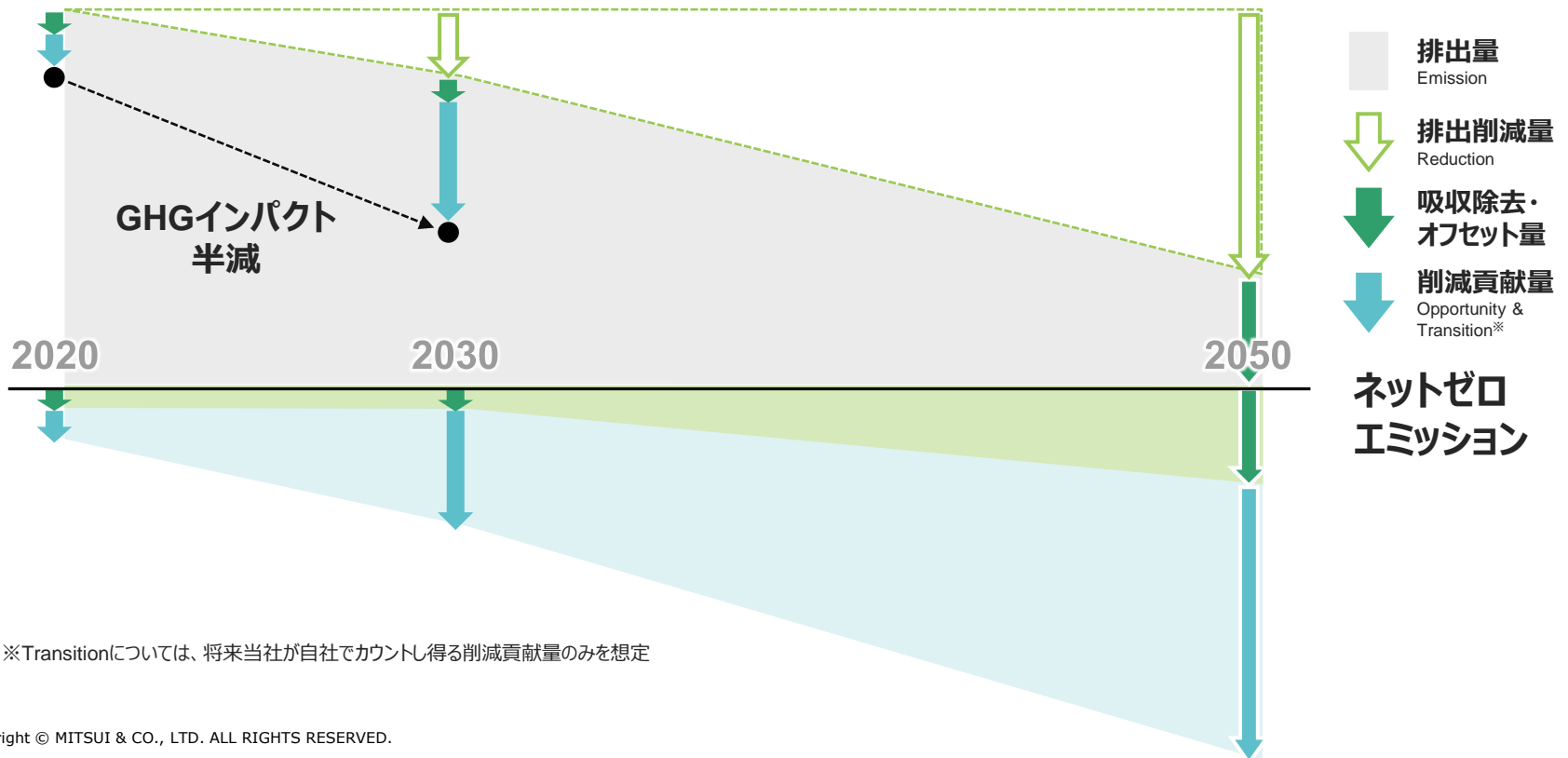
2023年5月24日

三井物産株式会社
水素ソリューション事業部

三井物産のグリーントランスフォーメーション

2030年のGHGインパクトを半減、2050年にネットゼロエミッションを達成すべく、
本部として「環境と調和する社会をつくる」に真っ向から取組みます

GHG削減における当社目標

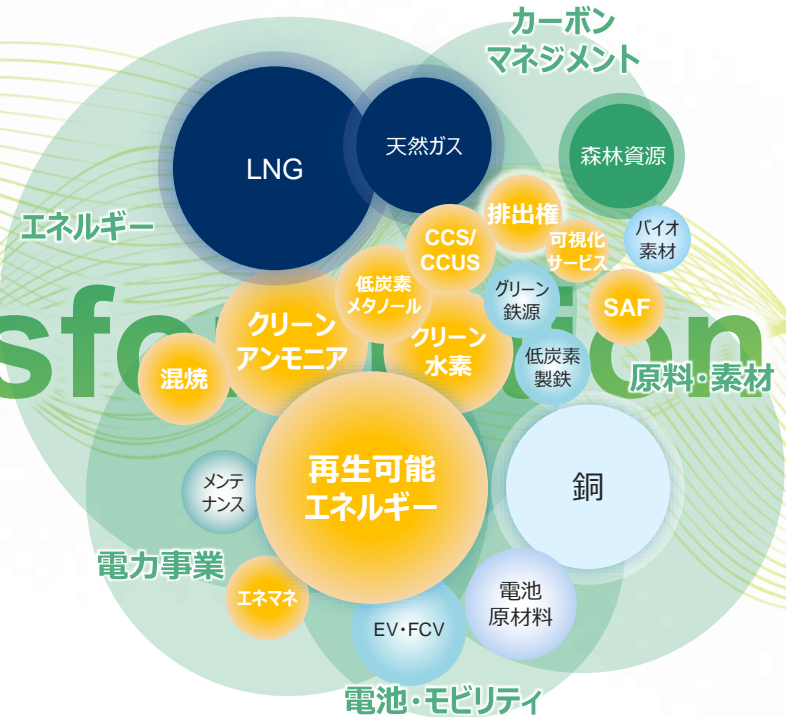
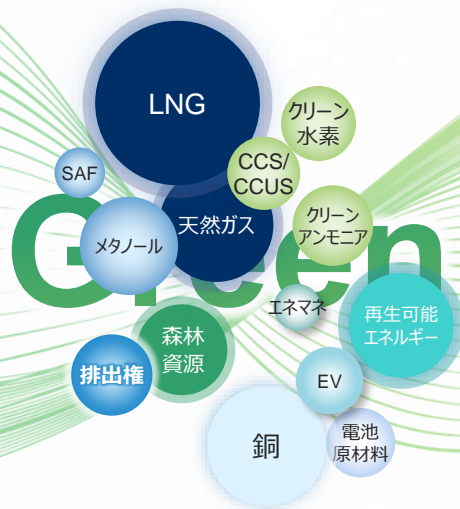


三井物産のグリーントランスフォーメーションと当本部の取り組み

2030年に向け、事業間のシナジーや周辺事業への展開を進め、
より大きな事業群へと成長させます

現在

2030



※それぞれの円の大きさは、投下資本並びに事業価値を示す

水素事業における当社取り組み領域

需要家・制度を意識し実需と紐付きで、サプライチェーン横断的に事業創出・参画を目指す

地産地消案件

- FirstElement Fuel社への出資 (2020)



FE FUEL

- Hiringa Energy社、Hiringa Refuelling NZ社への出資 (2021)

HIRINGA

- HTEC社とのパートナーシップ契約締結(2021)



- HYDRAコンソーシアム参画(2021)

- 西豪州グリーン水素製造事業出資参画(2022)



大規模水素バリューチェーン

- AHEAD水素サプライチェーンPJ参画(2017)



- 西豪州ブルーアンモニア生産に向けたJOGMECとのCCS共同調査(2021)

- CF Industries社とブルーアンモニア開発の提携(2021)



- UAE・日本間のMCH・水素サプライチェーン共同FS契約をADNOC・ENEOSと締結(2022)

- アブダビでのブルーアンモニア事業参画(2022)



Key Technology Equipment Supply

- Hexagon Compositeへの出資(2016)



- 同社による、Agility Fuel Solutions社の全株式取得(2019)

HEXAGON

- CaetanoBusとの水素バス製造・販売(2019)



- Maersk Mc-Kinney Moller Center for Zero Carbon参画(2021)

Maersk
Mc-Kinney
Moller Center
for Zero Carbon
Shipping

- エコナ・パワー社への出資(2022)



NZでのグリーン水素供給ステーション事業

- HE社(*)と締結したStrategic Alliance Agreementに基づき、NZで燃料電池大型車両向けグリーン水素供給ステーション事業を計画する Hiringa Refuelling New Zealand Limitedに2021年9月に出資。
- まずはNZの輸送拠点4都市に水素ステーションを2023年末までに設置し、排出量が多い大型車両への再エネ由来のグリーン水素供給を目指す。
- 地産地消型の取組を通じて、NZにおける持続可能な水素社会の実現に貢献。

水素ステーション事業概要

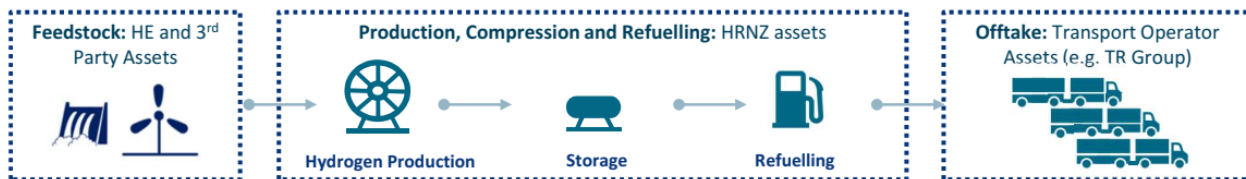
会社名	Hiringa Refuelling New Zealand Limited (HRNZ)
所在地	NZ国ニュープリマス市
事業内容	燃料電池大型車両向けグリーン水素供給ステーションの開発・運営
FID	2021年9月
商業運転開始(予定)	2023年下期
株主	Hiringa Refuelling Investment Limited Hiringa Energy Limited Mitsui & Co. Green Impact Partners K One W One Limited



ステーション配置

- 当初4か所 : Auckland, Hamilton, Palmerston North and Tauranga
- 追加3か所 (検討中)

Business Mechanism

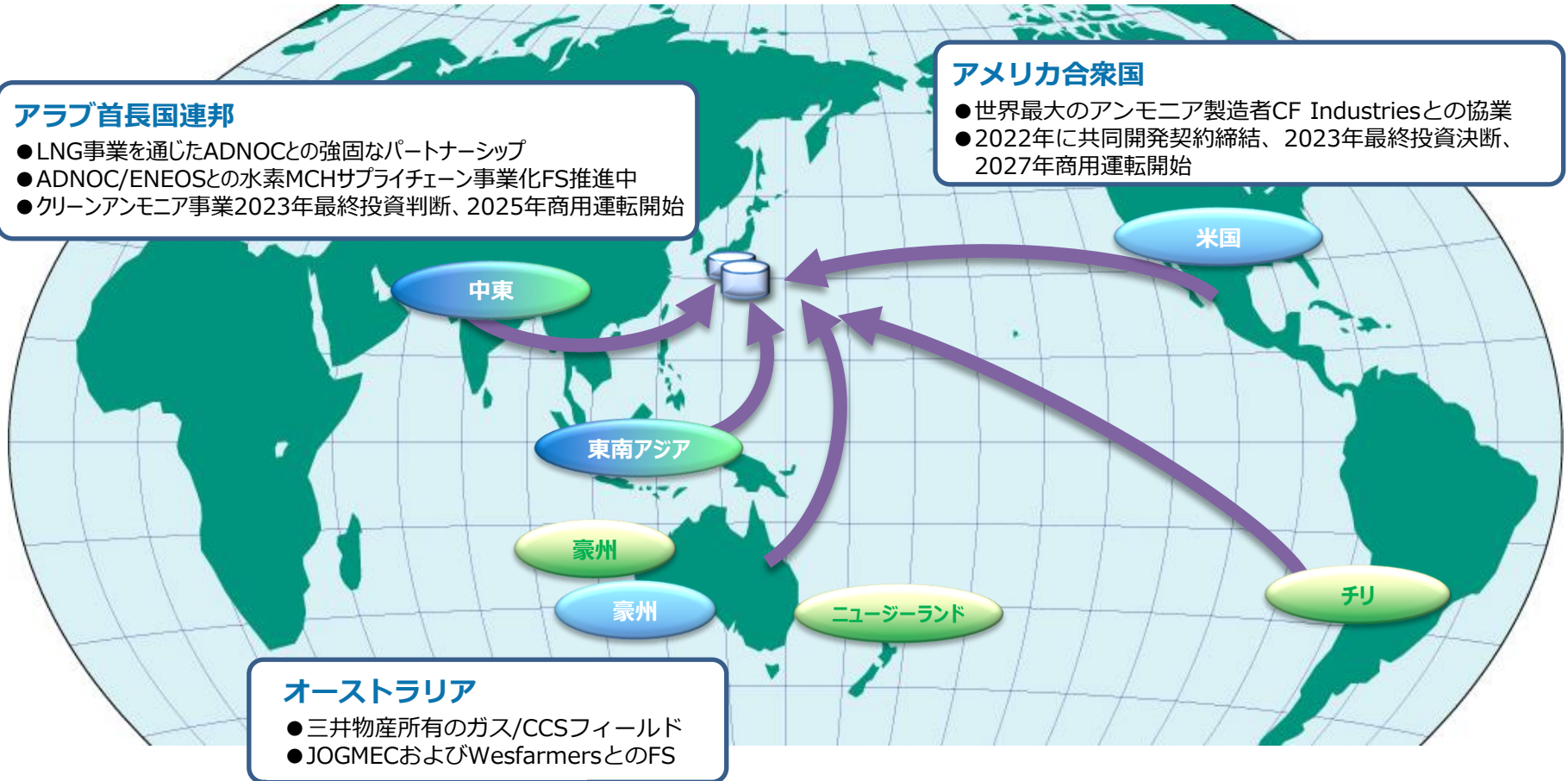


* HE: Hiringa Energy



クリーン水素アンモニア製造案件

- 世界各国で案件開拓中。
- 安定的で競争力のある製造事業への早期参画により本邦向け安定供給に貢献。
- 弊社の天然ガス上流事業・LNG事業、アンモニア事業での経験・パートナーシップを生かした取組を加速。



360° business innovation.



MITSUI & CO.